

## 2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 1日

所属・職名	国際教養学部・教授	氏名	柏木 将宏
研究課題	情報基盤の構築・運用および先進的な利用環境の開発・実践		
研究キーワード	教育工学、情報リテラシー、ICT活用、メディア活用	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>これまで取り組んで来た、本学情報基盤の構築・運用における情報システム、情報セキュリティ、ユーザー支援などに関わる諸活動と共に、その下でのICTに関する先進的な教育・研究環境の開発とアクティブラーニングなどによる実践に関し広範に取り組んでいます。例として、放送と通信の融合を見据えた情報リテラシー応用としてのネットワークを利用した放送に関する活動では、学生スタッフによる番組の企画・制作を実践しCATV局でレギュラー放送は来年度も継続されます。また、情報導入教育の全学共通教材制作を行う「情報教材開発プロジェクト」の取り組みも13年目を迎え、『ICCローカルガイド2020』と『千葉商科大学「情報入門」 大学生のための新しい情報リテラシー2020』が刊行されます。情報基礎教育については、学生のPC必携化とそれに伴い必要となる情報基盤環境の整備拡充を進め、また基盤教育機構における教育内容の充実に努めるべく、新しい教育の方向性を模索するテーマを定めました。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>情報の導入教育の全学共通教材として『ICCローカルガイド2020』（編集責任者）と『千葉商科大学「情報入門」 大学生のための新しい情報リテラシー2020』（ワーキンググループ代表）の制作を行いました。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>PC周辺機器およびソフトウェア、映像記録用機材周辺機器など、上記諸活動において必要となる汎用的な物品および消耗品の購入と、書籍代、学会費など。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>これまでの成果を元に、令和2（2020）年度の科学研究費補助金基盤研究（C）へ「情報基礎教育における実践を通じた理論獲得のモデルに関する研究」の研究課題名で代表者として応募申請を行い採択されました（20K03102、令和2年度～令和4年度、4,290千円）。</p>			
（本文は1ページ以内にまとめること）			